

## 生活衛生関係営業の景気動向等調査結果

－2014年7～9月期－

### I 景気の動向

#### 持ち直しの動きが続いているものの、改善幅は小幅にとどまる生活衛生関係営業の景況

今期（2014年7～9月期）の売上、採算、業況判断の各D Iは、▲16.7（前期比2.1ポイント低下）、▲4.4（同1.4ポイント低下）、▲16.0（同3.3ポイント低下）となりました。前年同期に対しては、売上D Iは3.3ポイント、採算D Iは3.0ポイント、業況判断D Iは0.7ポイント上昇しました。

**生活衛生関係営業の景況は、持ち直しの動きが続いているものの、改善幅は小幅にとどまっています。**

また、来期の売上、業況判断D I見通しは▲12.5、▲14.5と、それぞれ4.2ポイント、1.5ポイントの上昇を見込んでいます。

（注）D I＝良い（増加・黒字・好転）企業割合－悪い（減少・赤字・悪化）企業割合

調査時点	2014年9月上旬			
調査方法	郵送調査			
調査対象	生活衛生関係営業3,220企業			
有効回答企業数	3,008企業（回答率93.4%）			
（業種内訳）	飲食業	1,436企業	映画館	53企業
	食肉・食鳥肉販売業	151企業	ホテル・旅館業	165企業
	氷雪販売業	56企業	公衆浴場業	110企業
	理容業	365企業	クリーニング業	241企業
	美容業	431企業		

この調査は、全国的生活衛生関係営業の主な業種について、その景気や設備投資の動向などを把握するため、定期的に（年4回）実施しているものです。

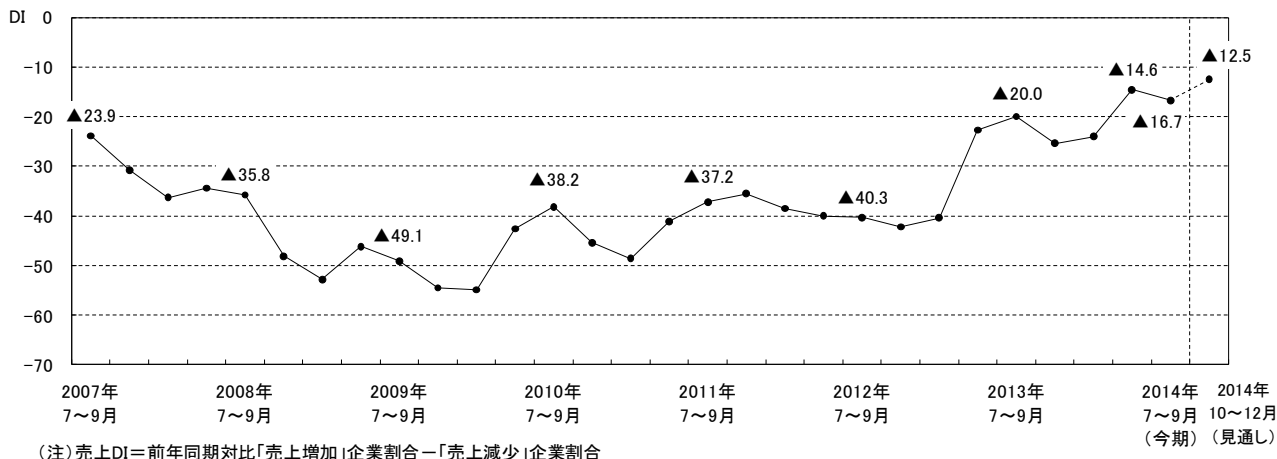
#### 【本調査における留意事項】

- ・2012年4～6月期調査時点で調査対象企業の見直しが行われている。
- ・比率の算出にあたっては、無回答を除いたものを母数としている。

# 1. 売上

- 売上DIは、前期から2.1ポイント低下して▲16.7となりました。前年同期に対しては3.3ポイント上回りました。6期連続で前年同期の水準を上回りました。  
来期の見通しは▲12.5と4.2ポイントの上昇を見込んでいます。

図 I - 1 - ① 売上DIの推移 (全業種計)



- 業種別にみると、前期に比べ、「食肉・食鳥肉販売業」「理容業」「美容業」「ホテル・旅館業」「公衆浴場業」の5業種で上昇しました。前年同期に対しては、「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「理容業」「美容業」「公衆浴場業」「クリーニング業」の6業種で上回りました。来期の見通しは、「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「冰雪販売業」「理容業」「美容業」「ホテル・旅館業」「クリーニング業」の7業種で上昇を見込んでいます。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ、「喫茶店」のみ上昇しました。前年同期に対しては、「そば・うどん店」「中華料理店」「すし店」「喫茶店」「その他飲食店」の5業種で上回りました。来期の見通しは、「中華料理店」「すし店」「料理店」「喫茶店」「社交業」「その他飲食店」の6業種で上昇を見込んでいます。

図 I - 1 - ② 業種別売上DIの推移 (飲食業を除く)

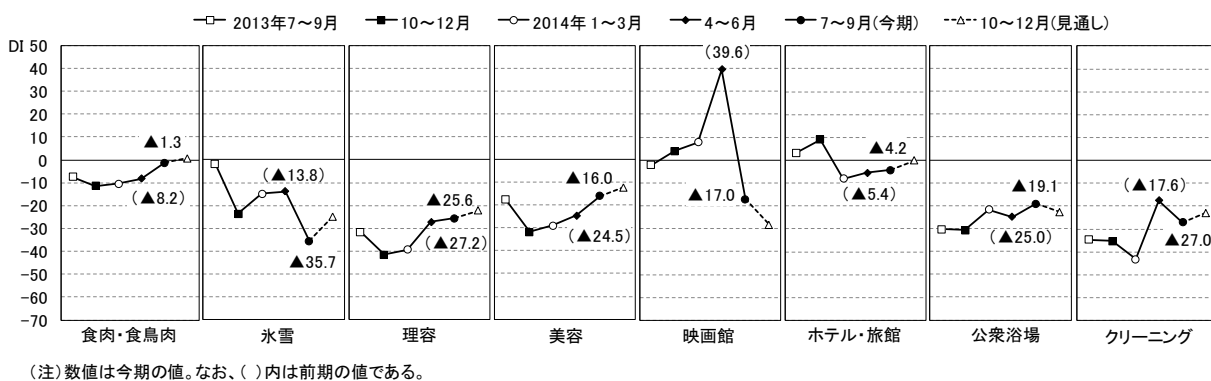
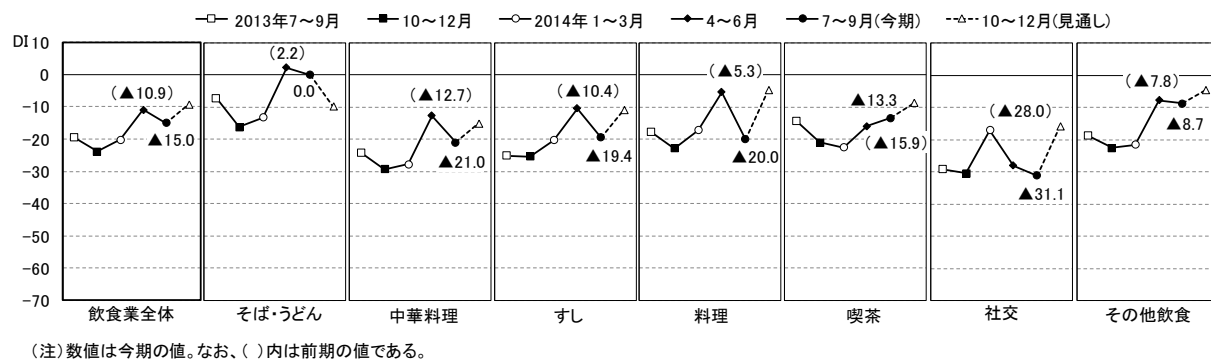


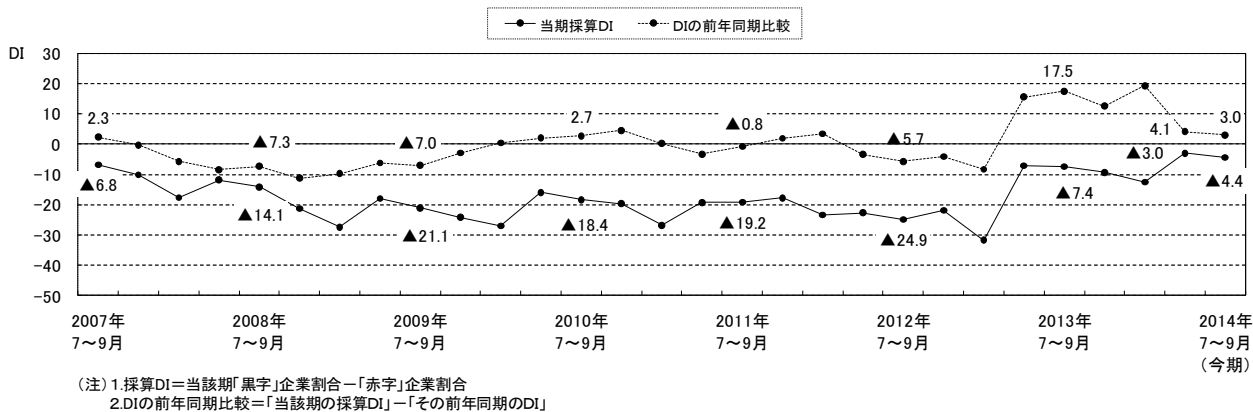
図 I - 1 - ③ 飲食業売上DIの推移



## 2. 採算

- 採算DIは、前期から1.4ポイント低下して▲4.4となりました。前年同期に対しては3.0ポイント上回りました。6期連続で前年同期の水準を上回りました。

図 I - 2 - ① 採算DIの推移（全業種計）



- 業種別にみると、前期に比べ、「食肉・食鳥肉販売業」「冰雪販売業」「理容業」「美容業」「ホテル・旅館業」の5業種で上昇しました。前年同期に対しては、「飲食業」「理容業」「美容業」「映画館」「クリーニング業」の5業種で上回りました。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ、「そば・うどん店」「喫茶店」「その他飲食店」の3業種で上昇しました。前年同期に対しては、「そば・うどん店」「すし店」「料理店」「喫茶店」「その他飲食店」の5業種で上回りました。

図 I - 2 - ② 業種別採算DIの推移（飲食業を除く）

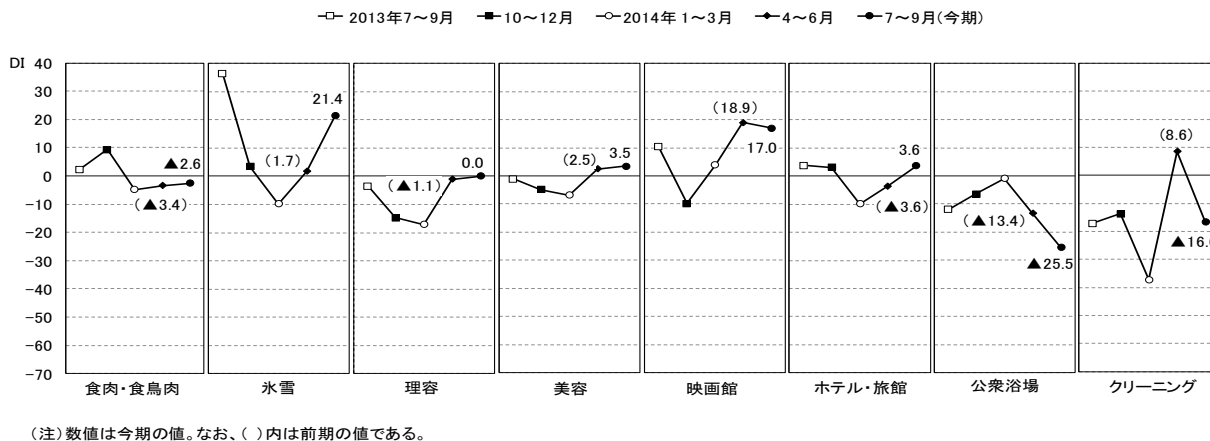
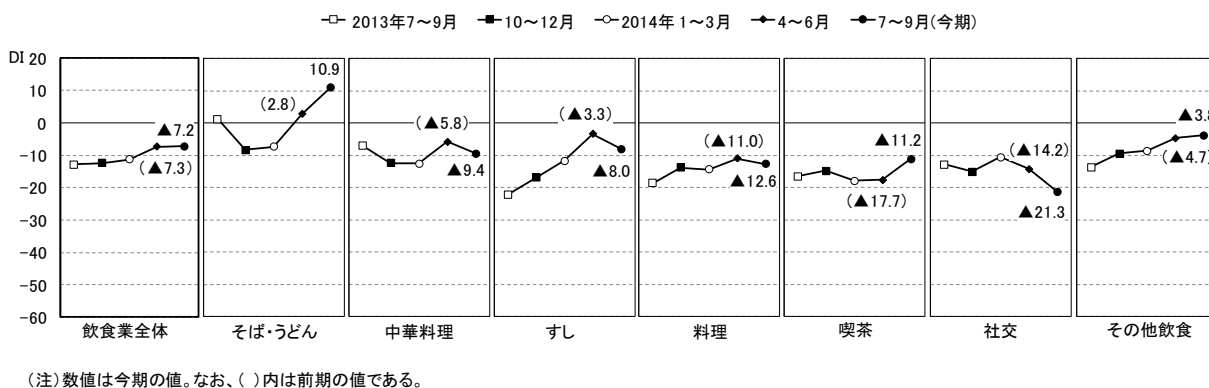


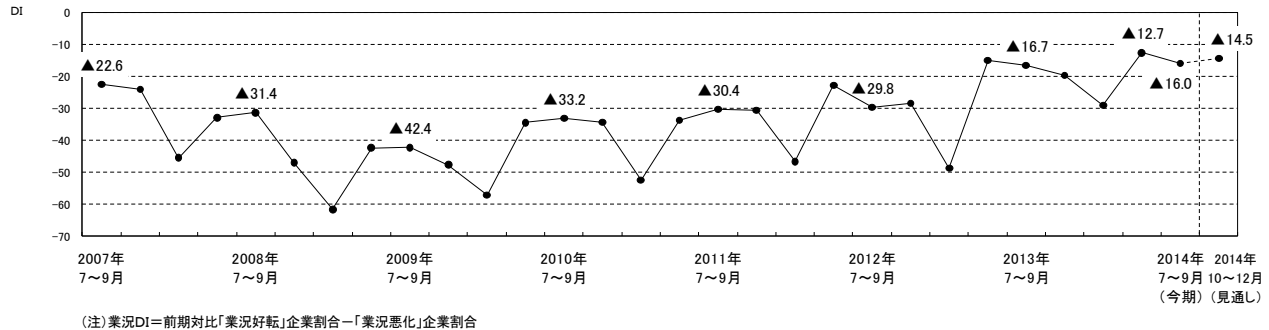
図 I - 2 - ③ 飲食業採算DIの推移



### 3. 業況判断

- 業況判断DIは、前期から3.3ポイント低下して▲16.0となりました。前年同期に対しては0.7ポイント上回りました。6期連続で前年同期の水準を上回りました。  
来期の見通しは▲14.5と1.5ポイントの上昇を見込んでいます。

図 I - 3 - ① 業況判断DIの推移（全業種計）



- 業種別にみると、前期に比べ、「食肉・食鳥肉販売業」「美容業」「ホテル・旅館業」「公衆浴場業」の4業種で上昇しました。前年同期に対しては、「食肉・食鳥肉販売業」「理容業」「美容業」の3業種で上回りました。  
来期の見通しは、「飲食業」「美容業」「クリーニング業」の3業種で上昇を見込んでいます。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ、「中華料理店」「喫茶店」の2業種で上昇しました。前年同期に対しては、「すし店」「料理店」「その他飲食店」の3業種で上回りました。  
来期の見通しは、「すし店」「料理店」「社交業」「その他飲食店」の4業種で上昇を見込んでいます。

図 I - 3 - ② 業種別業況判断DIの推移（飲食業を除く）

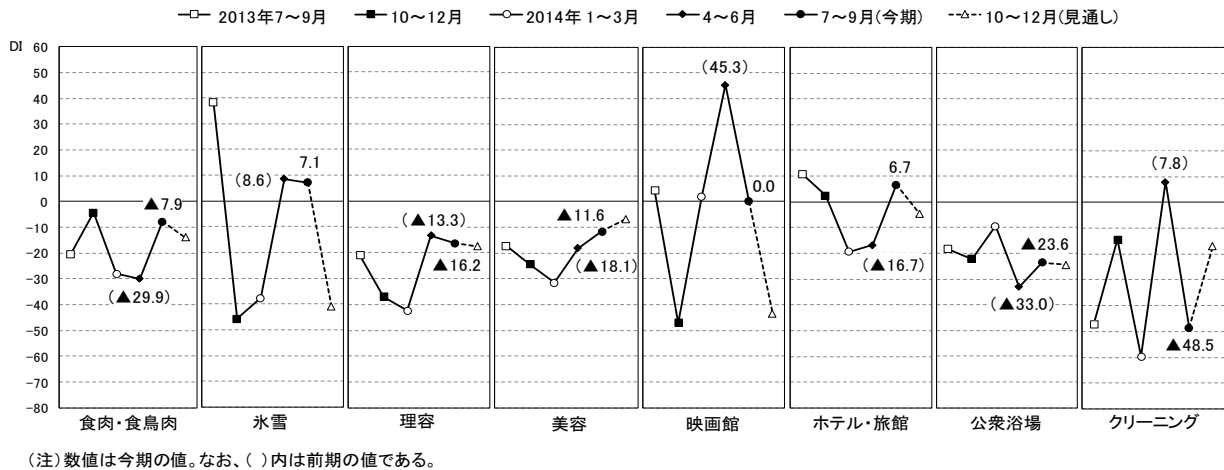
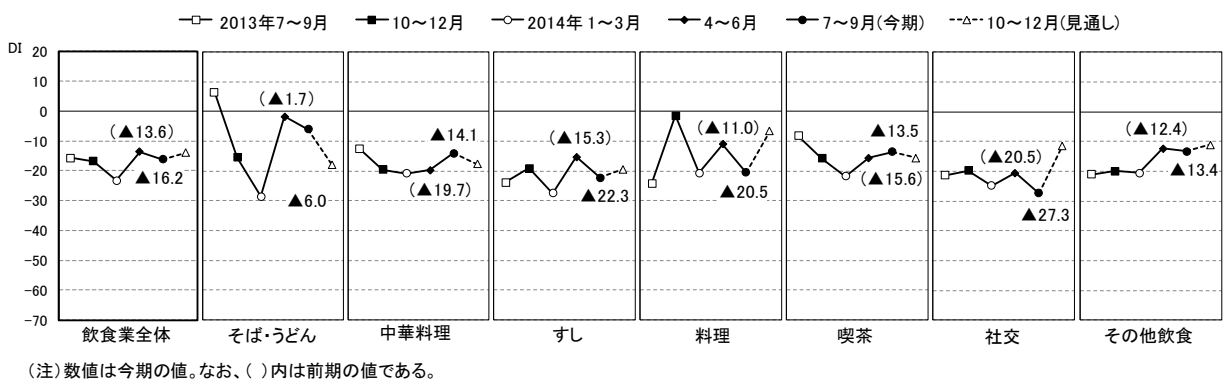


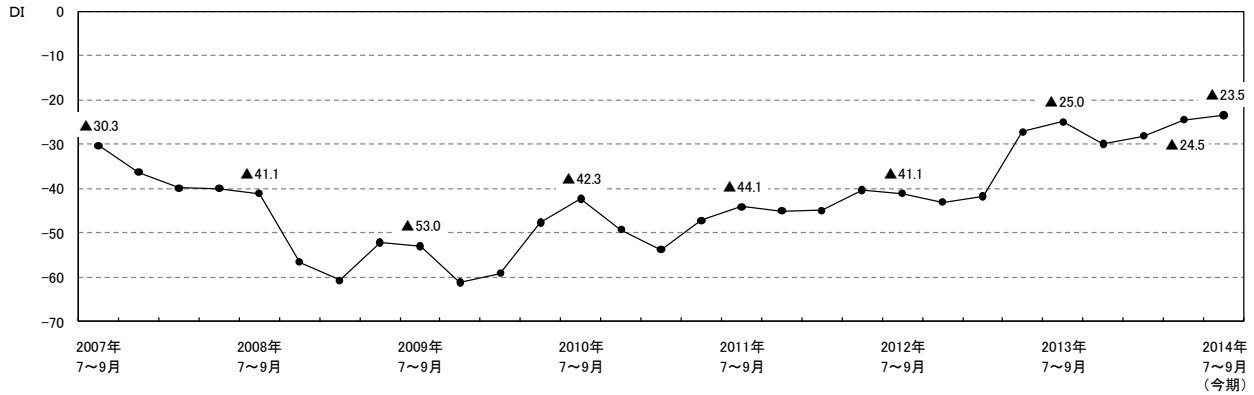
図 I - 3 - ③ 飲食業業況判断DIの推移



#### 4. 利用客数

- 利用客数DIは、前期から1.0ポイント上昇して▲23.5となり、前年同期に対しては1.5ポイント上回りました。12期連続で前年同期の水準を上回りました。

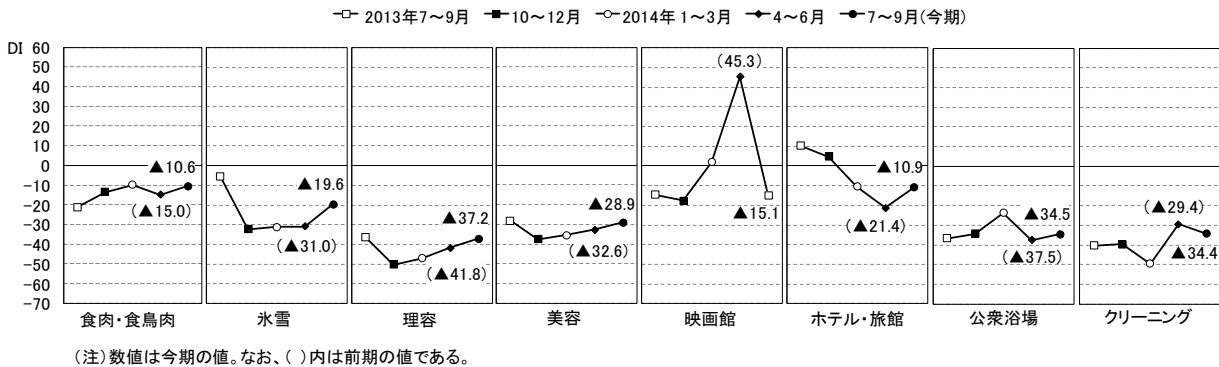
図 I - 4 - ① 利用客数DIの推移（全業種計）



(注) 利用客数DI=前年同期対比「利用客数増加」企業割合-「利用客数減少」企業割合

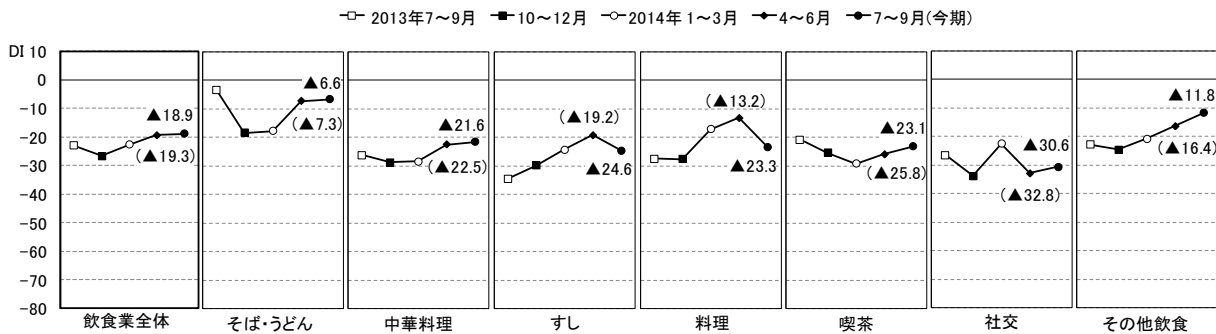
- 業種別にみると、前期に比べ、「食肉・食鳥肉販売業」「冰雪販売業」「理容業」「美容業」「ホテル・旅館業」「公衆浴場業」の6業種で上昇しました。前年同期に対しては、「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「公衆浴場業」「クリーニング業」の4業種で上回りました。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ、「そば・うどん店」「中華料理店」「喫茶店」「社交業」「その他飲食店」の5業種で上昇しました。前年同期に対しては、「中華料理店」「すし店」「料理店」「その他飲食店」の4業種で前年同期の水準を上回りました。

図 I - 4 - ② 業種別利用客数DIの推移（飲食業を除く）



(注) 数値は今期の値。なお、( )内は前期の値である。

図 I - 4 - ③ 飲食業利用客数DIの推移

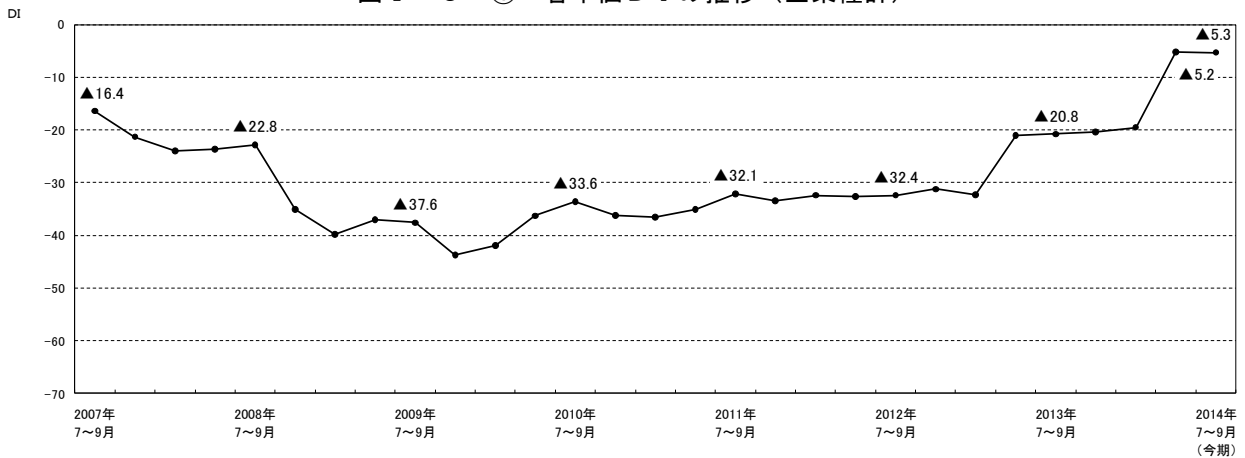


(注) 数値は今期の値。なお、( )内は前期の値である。

## 5. 客単価

- 客単価DIは、前期から0.1ポイント低下して▲5.3となり、前年同期に対しては15.5ポイント上回りました。6期連続で前年同期の水準を上回りました。

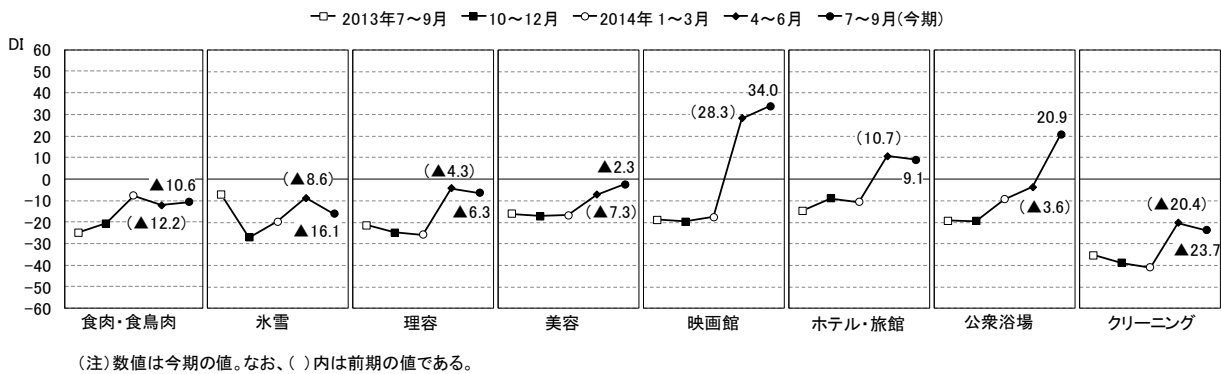
図 I - 5 - ① 客単価DIの推移（全業種計）



(注) 客単価DI=前年同期対比「客単価上昇」企業割合-「客単価低下」企業割合

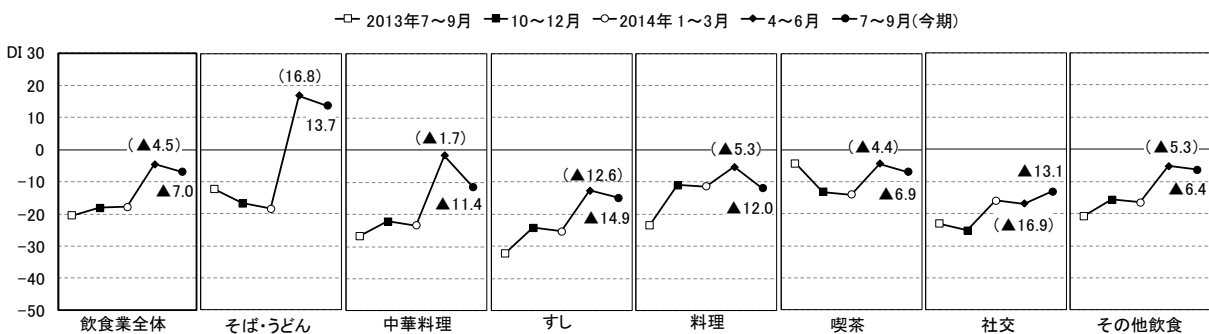
- 業種別では、前期に比べ、「食肉・食鳥肉販売業」「美容業」「映画館」「公衆浴場業」の4業種で上昇しました。前年同期に対しては、「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「理容業」「美容業」「映画館」「ホテル・旅館業」「公衆浴場業」「クリーニング業」の8業種で上回りました。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ、「社交業」のみ上昇しました。前年同期に対しては、「そば・うどん店」「中華料理店」「すし店」「料理店」「社交業」「その他飲食店」の6業種で上回りました。

図 I - 5 - ② 業種別客単価DIの推移（飲食業を除く）



(注) 数値は今期の値。なお、( )内は前期の値である。

図 I - 5 - ③ 飲食業客単価DIの推移



(注) 数値は今期の値。なお、( )内は前期の値である。

## II 設備投資の動向

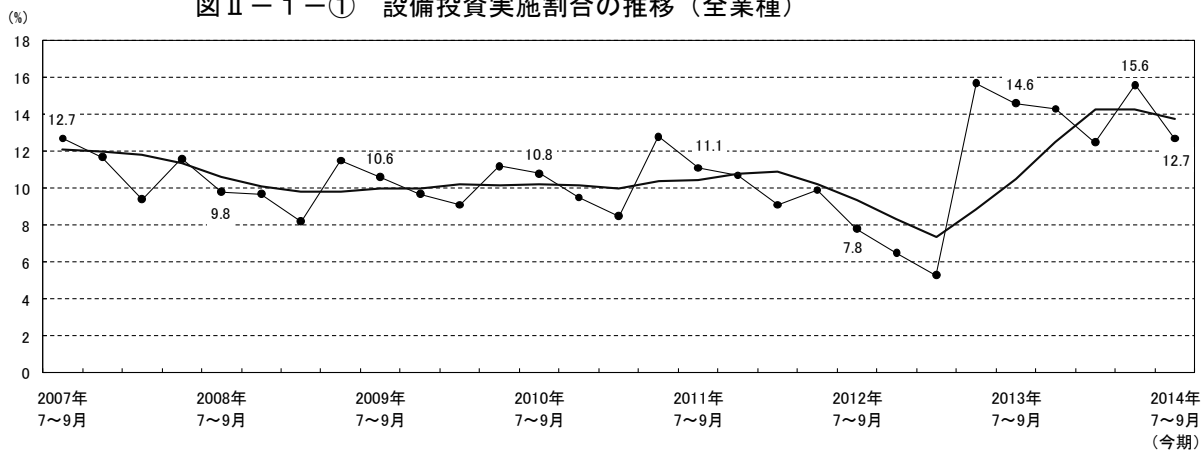
### 1. 設備投資の実施状況

#### (1) 設備投資の状況

今期（2014年7～9月期）に設備投資を行った企業の割合は12.7%と前期（15.6%）に比べ2.9ポイント低下しました。前年同期（14.6%）に対しては1.9ポイント低下しました。

**生活衛生関係営業の設備投資は、持ち直しの動きが続いています。**

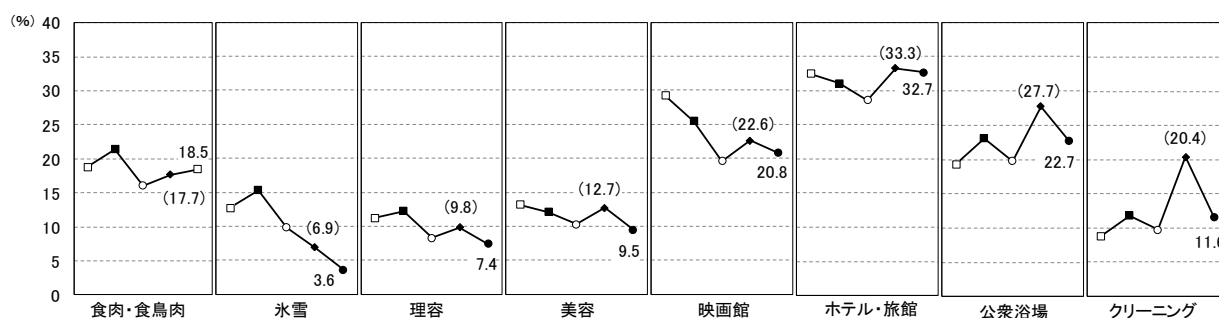
図Ⅱ-1-① 設備投資実施割合の推移（全業種）



- 設備投資を実施した割合を業種別に高い順にみると、「ホテル・旅館業」32.7%、「公衆浴場業」22.7%、「映画館」20.8%となっています。「ホテル・旅館業」「公衆浴場業」「クリーニング業」の3業種で前年同期の水準を上回りました。
- 飲食業の業種別に設備投資を実施した割合を高い順にみると、「料理店」21.9%、「すし店」13.1%、「そば・うどん店」11.4%となっています。「すし店」「料理店」の2業種で前年同期の水準を上回りました。

図Ⅱ-1-② 業種別設備投資実施割合の推移（飲食業を除く）

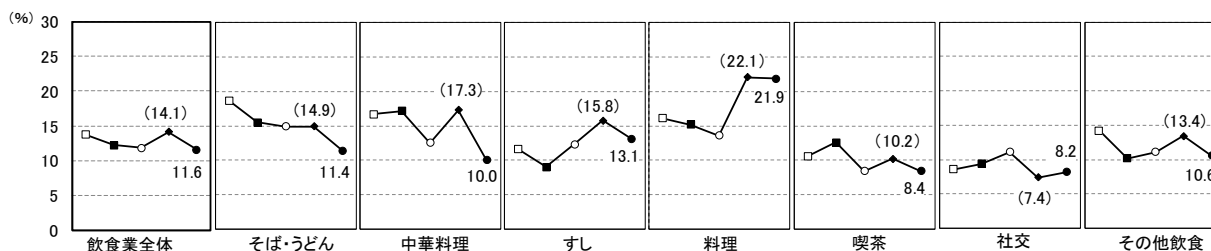
□ 2013年7～9月 ■ 10～12月 ○ 2014年1～3月 ▲ 4～6月 ● 7～9月(今期)



(注) 数値は今期の値。なお、( )内は前期の値である。

図Ⅱ-1-③ 飲食業設備投資実施割合の推移

□ 2013年7～9月 ■ 10～12月 ○ 2014年1～3月 ▲ 4～6月 ● 7～9月(今期)

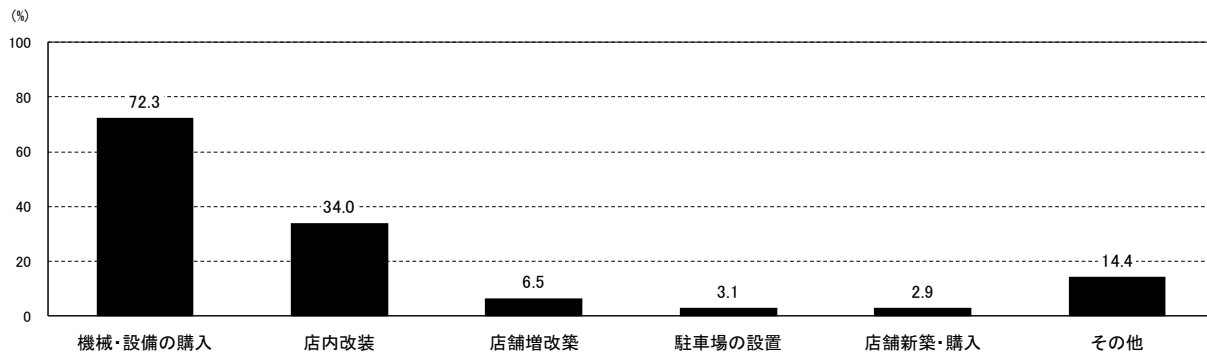


(注) 数値は今期の値。なお、( )内は前期の値である。

## (2) 設備投資の内容

- 設備投資の内容は、「機械・設備の購入」72.3%、「店内改装」34.0%、「店舗増改築」6.5%の順となっています。

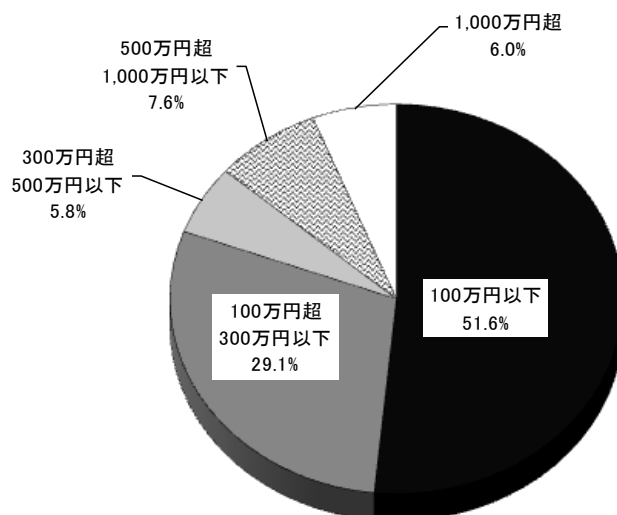
図Ⅱ-1-④ 設備投資の内容（全業種、複数回答）



## (3) 設備投資金額

- 設備投資を行った企業の投資金額をみると、「100万円以下」51.6%、「100万円超300万円以下」29.1%、「300万円超500万円以下」5.8%となっており、500万円以下の小口投資が86.4%を占めました。  
一方、「500万円超1,000万円以下」7.6%、「1,000万円超」6.0%となっています。

図Ⅱ-1-⑤ 設備投資金額（全業種）



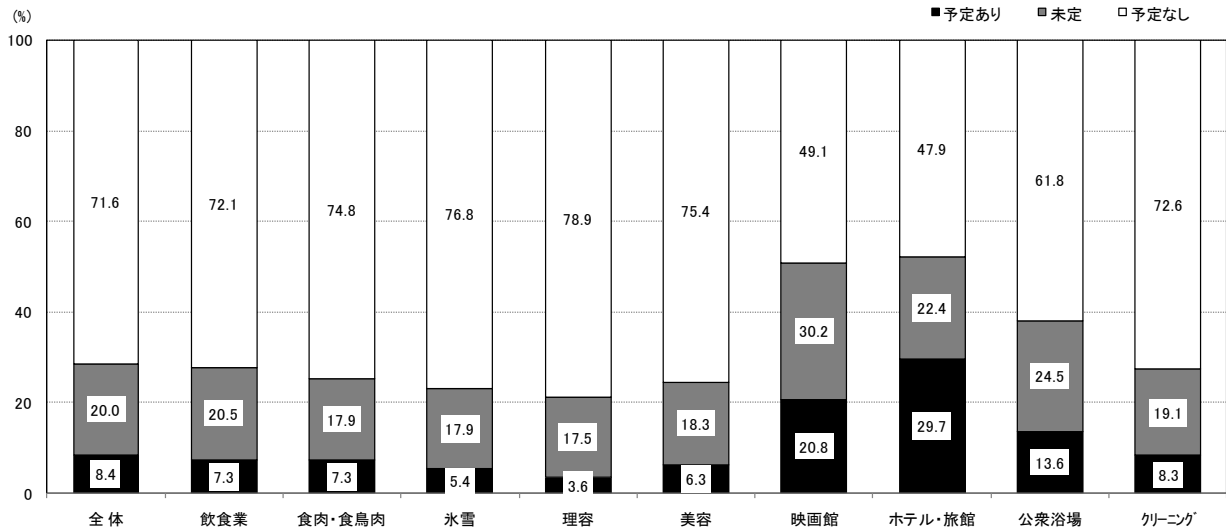


## 2. 来期以降1年間の設備投資計画

### (1) 計画の有無

- 来期以降1年間の設備投資計画については、「予定あり」8.4%、「未定」20.0%、「予定なし」71.6%となっています。「予定あり」の企業割合は前期（10.0%）から1.6ポイント低下、前年同期（10.0%）に対しても1.6ポイント低下しました。
- 設備投資を「予定あり」とする企業を業種別に高い順にみると、「ホテル・旅館業」29.7%、「映画館」20.8%、「公衆浴場業」13.6%となっています。

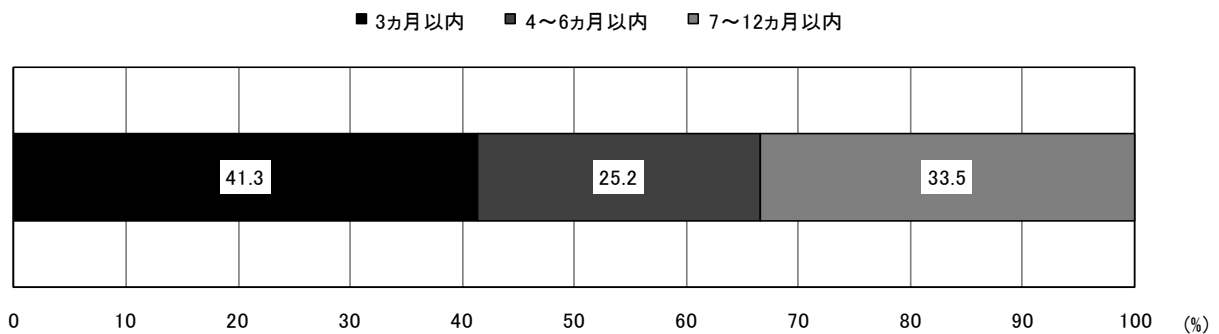
図Ⅱ-2-① 来期以降1年間の設備投資計画の実施予定割合（業種別）



### (2) 設備投資の実施予定時期

- 設備投資計画で「予定あり」と回答した企業について、実施予定時期をみると、「3ヵ月以内」41.3%、「4～6ヵ月以内」25.2%、「7～12ヵ月以内」33.5%となっています。

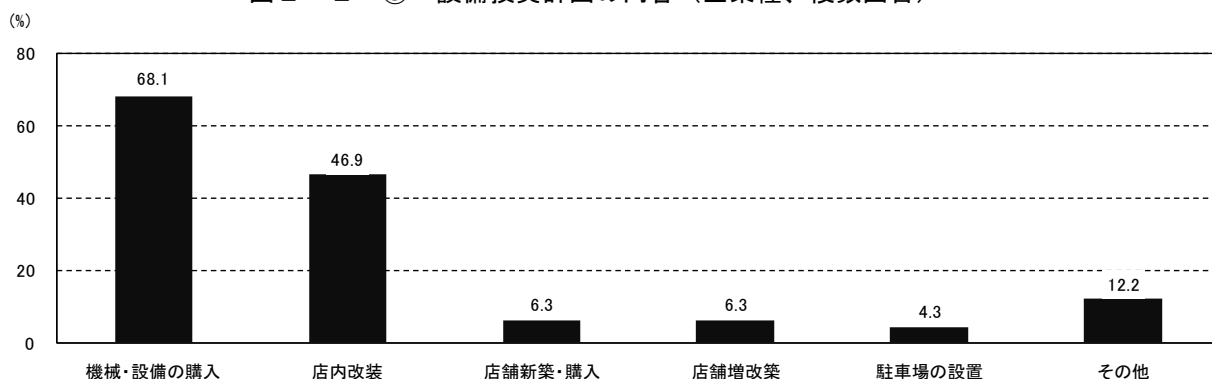
図Ⅱ-2-② 設備投資計画の実施予定時期（全業種）



### (3) 設備投資計画の内容

- 設備投資計画の内容は、「機械・設備の購入」68.1%、「店内改装」46.9%、「店舗新築・購入」及び「店舗増改築」6.3%の順となっています。

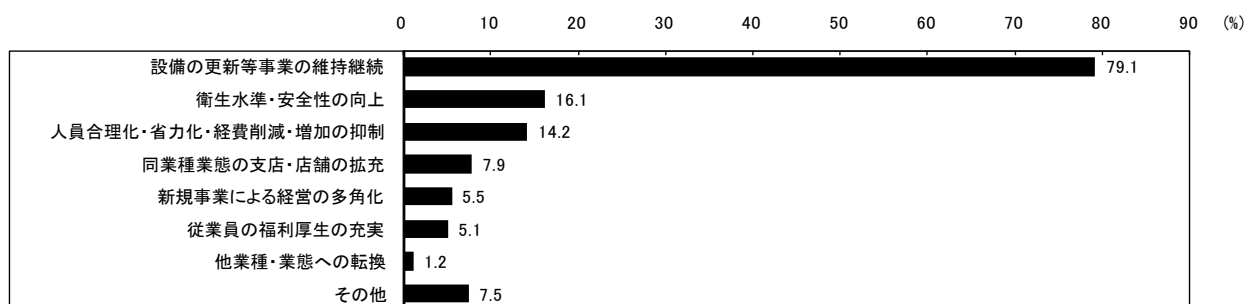
図Ⅱ-2-③ 設備投資計画の内容（全業種、複数回答）



### (4) 設備投資計画の動機

- 設備投資計画の動機は、「設備の更新等事業の維持継続」79.1%、「衛生水準・安全性の向上」16.1%、「人員合理化・省力化・経費削減・増加の抑制」14.2%の順となっています。

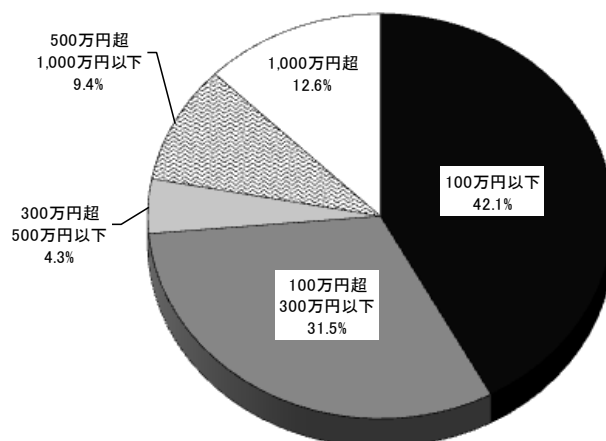
図Ⅱ-2-④ 設備投資計画の動機（全業種、複数回答）



### (5) 設備投資予定金額

- 設備投資予定額は、「100万円以下」42.1%、「100万円超 300万円以下」31.5%、「300万円超 500万円以下」4.3%となっています。500万円以下の小口投資は、全体の78.0%を占めています。

図Ⅱ-2-⑤ 設備投資予定金額（全業種）



### Ⅲ 経営上の問題点

- 経営上の問題点で多いものを順にみると、「顧客数の減少」53.4%、「仕入価格・人件費等の上昇を価格に転嫁困難」37.4%、「店舗施設の狭隘・老朽化」22.9%、「客単価の低下」20.1%、「従業員の確保難」19.1%となっています。
- 「ホテル・旅館業」は「店舗施設の狭隘・老朽化」、「そば・うどん店」「中華料理店」「その他飲食店」「食肉・食鳥肉販売業」は「仕入価格・人件費等の上昇を価格に転嫁困難」、その他の業種では「顧客数の減少」を第1位としてあげています。

表 経営上の問題点（業種別、2014年7～9月）

(%)

項目	顧客数の減少	転等仕嫁の困入上難格を・価人格件に費	老朽舗化施設の狭隘・	客単価の低下	従業員の確保難	後継者難	事業資金借入難	その他	特に問題なし
業種合計	53.4	37.4	22.9	20.1	19.1	9.5	3.8	4.5	7.5
飲食業合計	48.0	44.2	21.2	19.8	21.4	8.6	4.7	3.8	7.5
そば・うどん店	44.6	45.1	25.5	15.2	25.0	8.2	4.3	4.3	6.5
中華料理店	42.9	52.4	21.2	22.9	22.4	5.3	4.1	1.8	7.6
すし店	54.3	36.6	21.7	25.7	22.3	11.4	5.1	2.9	8.0
料理店	47.0	41.7	23.2	22.5	23.2	6.6	6.0	5.3	6.6
喫茶店	51.1	48.9	25.8	11.8	14.0	11.8	3.9	4.5	3.9
社交業	59.0	25.7	13.1	27.3	24.6	9.3	3.8	2.7	11.5
その他飲食店	42.8	51.1	20.0	17.0	20.0	7.8	5.3	4.6	7.8
食肉・食鳥肉販売業	36.4	52.3	24.5	18.5	15.9	11.9	4.6	1.3	7.9
氷雪販売業	58.9	23.2	21.4	17.9	12.5	21.4	3.6	14.3	5.4
理容業	69.9	20.8	18.6	20.8	10.4	11.8	1.9	7.1	11.5
美容業	56.6	23.0	20.0	20.2	26.5	9.7	3.2	5.1	9.7
映画館	62.3	22.6	41.5	7.5	22.6	0.0	3.8	13.2	1.9
ホテル・旅館業	41.8	33.3	46.1	19.4	27.3	6.7	4.2	3.0	2.4
公衆浴場業	71.8	33.6	40.0	6.4	4.5	15.5	0.9	4.5	5.5
クリーニング業	62.2	49.0	15.8	32.4	9.1	8.3	2.5	2.5	2.9

(注)複数回答のため合計は100を超える。

#### IV 特徴的な業況判断理由（業種・地域別）

今期および来期見通しの業況に対する判断理由（地域経済、業界の特徴および経営面での取り組みを含みます。）について、特徴的なものを取りまとめると次のとおりです。

今期：2014年7～9月期      来期：2014年10～12月期

##### ◆飲食業

業種	業況	地域	判断理由
そば・うどん店	今期	好転	長野県 夏休みに観光客が多く訪れた。当店は目立ため場所にあり、インターネットで調べて来られる方が多い。ホームページのアクセス解析によると最近では事前に調べるより、当日になってスマートフォンで検索して来られる方が多いので、検索されやすいホームページ作りを心掛けたい。
		不変	三重県 客数・客単価ともに悪くはないが、当期の後半は悪天候が続いたため、伸びなかった。
		悪化	長崎県 消費増税後、仕入価格が上昇したが価格に転嫁できず赤字が続いている。利用客も減少しており、営業が継続できるか心配である。
	来期見通し	好転	鹿児島県 店内を禁煙にしたり、座敷をテーブル席に変更したり、バリアフリー化により来期は好転するものと期待している。
		不変	群馬県 前橋の豚肉料理ナンバーワンを決めるT-1グランプリで、グランプリ受賞のメニュー「おそば屋さんのソースかつ丼」が、TVやインターネットで話題になり来客が増えた。その後も客足は維持している。
		悪化	東京都 原材料の海老、鴨、野菜等の価格高騰が続いているが、今後も魚介類、野菜の高騰が懸念され、非常に厳しい状況が続くと予想される。食材の仕入れについては、品種やサイズ等を変更するなど努力し売上維持を図っていききたい。
中華料理店	今期	好転	埼玉県 店舗周辺で大規模な宅地開発が行われたため、今まで以上に楽しく食事を味わってもらおうと店舗を改装したところ、新規のお客様が来店するようになった。
		不変	福岡県 毎年、夏休み時期になるとファミリー客が増加するが、今年は台風や大雨で災害が続いたことや消費税増税の影響もあり、家族連れが減少し、客単価の低下にも苦労している。
		悪化	島根県 消費増税の影響が続いているため、客数の減少が止まらない。天候が不順だった影響もある。
	来期見通し	好転	神奈川県 サンマー麺のPRが功を奏したのか、最近若いお客様がが増えてきているので、少しは好転するのではないかと思う。
		不変	福岡県 消費増税以降、サラリーマンが昼食を弁当に切り替えたのか、主力のランチタイムのお客様が減少した。また、豚肉の値上げにより利幅が少なくなっている。来期も好転する材料は見当たらない。
		悪化	広島県 最近、地元のテレビ番組やタウン誌で紹介されたため、少しは顧客の増加を期待したが、長引く天候不順のためか、グループの集まりや宴会がなく売上が伸びない。そうした中、原材料の高騰があり、売上が下がるなど収支状況はますます厳しさを増している。
すし店	今期	好転	石川県 町中に北陸新幹線の開業を見据えた賑わいが出てきた。事業所も近所にできたので、売上増加に結び付けていきたい。
		不変	愛媛県 従業員の確保難から営業日数を減らしたが、ゴルフコンペを主催したり、優良顧客へのアプローチ強化等の営業努力により、黒字は維持できる見込みである。
		悪化	岩手県 消費増税後の4月、5月は堅調に推移したものの、7月は客足が伸びず、8月もお盆終了後はお客様の動きが鈍い。
	来期見通し	好転	埼玉県 当店のお客様のシニア層の割合は40%を占めているが今後はこの割合がもっと増えると思われる。そこで、一早く店舗をバリアフリーにすることで、お客様が来店しやすく親しみのある店づくりを行い、収益を上げていきたいと考えている。
		不変	滋賀県 仕入れの無駄をしないようなメニュー作りの工夫と若い世代のお客の確保のため

				めにも後継者を育てていく。
		悪化	栃木県	消費増税のあおりをまともに食らっている。先行きの見通しが立たない。
料理店	今期	好転	徳島県	新メニューの導入や店舗改装などを実施したことで、お客様の評判が良い地域で気になるお店としてテレビで取り上げられ、売上増加につながった。台風や大雨等天候不順であったにもかかわらず、幸いにも来客数に影響はなかった。地域に根付いた店になりつつあると感じている。
		不変	宮城県	震災から3年半が経過し、お客様の動きや客数、売上も安定してきたように思う。ダイレクトメールを継続した努力の効果があったものと思う。
		悪化	愛知県	消費増税の価格への転嫁により、値段が高く感じられているため売上の減少につながっている。
	来期見通し	好転	茨城県	高級弁当の出前に力を入れ、家族連れにもご利用いただけるようにメニューを変更することで好転させたい。
		不変	秋田県	県外客の増加と地元にも景気回復の良い波が出て来るとの期待を持っている。
		悪化	広島県	顧客数は確実に減少してきている。それに加え消費税問題、原料の高騰によるダブルパンチで収入が減少している。
喫茶店	今期	好転	鹿児島県	口コミやフェイスブックの活用により、お客様が増えた。また、コーヒー豆の販売を伸ばすため、ウェブショップをリニューアルするなど、インターネットをこれまで以上に活用していく方針である。
		不変	千葉県	固定客が多いので、極力セルフサービスにならないようにしている。増税後には新しいメニューを提供し、常に新鮮さをアピールしている。
		悪化	鳥取県	今年の夏は台風の影響で雨も多くお客様の来店が少なかった。都会は良いかもしれないが、地方の景気は最悪である。
	来期見通し	好転	山形県	高齢者だけでなく、若年層の客も増加しているので、来期も期待できる。
		不変	滋賀県	滋賀名物の赤こんにやくを使ったカルパッチョのメニューを新しく加えて客の引き留めを図り、収支をトントンにしたい。
		悪化	岐阜県	常連客が減り続ける中、新規客を増やすことは難しい。常連客を家族のように大切に、ランチのメニューを好みに合うように手を加えて対応している。
社交業	今期	好転	宮崎県	8月は色々な会合に出席したので、二次会の流れが多かった。今期7月、8月は宮崎市社交飲食業組合で作成した「みやぎきナイトマップ（タクシー割引チケット付）」でのお客様が来店されている。
		不変	島根県	当期は雨の日が続き、集客が非常に難しかった。
		悪化	愛知県	お盆、夏休みなど行楽にお金を使っているため、お店での飲酒・飲食の回数は少なくなっている。
	来期見通し	好転	茨城県	メールでのお礼や手紙等での挨拶を欠かさないとことや、紹介していただいたお店・ホテルへお礼に行くことに加えて、領収書の使える会社へのアプローチも行なっている。従業員一人一人が努力してくれているので好循環につながっている。
		不変	大阪府	交際費への課税見直しにより、若干とはいえ期待できるようになってきているので、これ以上は悪くならないと思う。
		悪化	福岡県	NHKドラマ「軍師官兵衛」の影響で、中洲の人通りが大変多くなっている。しかし、旅行者なので当店には無関係で、通りに面したレストランやラーメン屋が賑わっている。今後も業況の好転は考えられない。
その他飲食店	今期	好転	愛媛県	50年以上従来のやり方を固く守り、新しいことはしていなかったが、先般、そのことが評価され、業界誌やテレビで紹介されたことから大変忙しい期となった。ブームは一時的なものであり、今後も今までの商売のスタイルを守っていくつもりである。
		不変	香川県	天候不良による野菜類の値上がり経営を圧迫している。
		悪化	山口県	この夏は台風や豪雨など天候不順で行事の中止が多く、仕出し・弁当の売上が減少した。
	来期見通し	好転	愛媛県	無農薬野菜、有機食品など食材にこだわり他店と差別化を図るとともに、食品アレルギーに関する運動にも参加したことで、知名度が上がり固定客がついている。店舗を一部改装して収容人数・客単価のアップを図るとともに、SNSやH

				Pでのアプローチを強化する予定であり、順調な推移を期待している。
	不変	島根県		業況に著変はないものの、パート・アルバイト不足が続いており、売上を伸ばす機会を逸する状況になってきている。
	悪化	茨城県		業況の悪化が続いているので、オープン時間を早めるなどの対策を講じているが、効果が現れない。

#### ◆食肉・食鳥肉販売業

業種	業況		地域	判断理由
食肉販売業	今期	好転	熊本県	消費税アップの影響から脱し、客単価も上昇に転じて比較的順調に推移している。
		不変	京都府	消費増税と物価上昇により食料品を取り巻く情勢は厳しい。特売日を多くして来客数の維持に努めている。
		悪化	秋田県	災害や病気の影響で豚肉、鶏肉の相場が上昇し仕入高が大幅に増加している。値上げをしたため、ある程度売上は増えたが利益は少ない。
	来期見通し	好転	北海道	全肉種について品質を向上させた。高級ブランド化を進め、差別化を図ったところ業績が好転した。
		不変	千葉県	現状維持は出来ると思うが、PED（豚流行性下痢）の影響による秋の豚肉不足が心配。
		悪化	鹿児島県	豚流行性下痢の影響もあって豚肉の仕入れ価格が上昇するようで、販売価格も上げざるを得ない。商売はますます厳しくなる。
食鳥肉販売業	今期	好転	大阪府	世の中の景況感が好転しつつある状況下、消費税も浸透・定着し、駆け込み需要後の買い控えも薄らぎつつある。
		不変	島根県	当社は独自の加工技術を持っているため、取引先企業が廃業してもすぐに新規の顧客が見つかるので現状維持できている。
		悪化	愛知県	売上減少が続いている。消費税引上げの影響が出てきているものと思う。
	来期見通し	好転	福岡県	売れ筋商品をリストアップして、売れてない商品は少量の在庫とし、ロス率を減らしている。それに伴い、収益・売上・客単価の上昇につながりつつある。今後もお客様が求める商品を細かく把握して、業況を好転させていきたい。
		不変	徳島県	景気好転の兆しも感じられ、年末にかけて売上増加は期待できるが、仕入価格が上昇しており利益率は低下すると思われる。販売価格の値上げはできないが、惣菜類の販売にも力を入れるので業況は変わらない。
		悪化	愛知県	消費増税が響いてくるものと考えている。

#### ◆冰雪販売業

業種	業況		地域	判断理由
冰雪販売業	今期	好転	千葉県	冰雪販売業にとって最大の需要期であり、1年で一番忙しい。
		不変	神奈川県	雨が少なかったためイベントの中止などなく、順調に推移した。
		悪化	大阪府	消費増税後の景気回復が遅く感じられ、悪天候が続く夏場イベントの中止が相次いだ。
	来期見通し	好転	石川県	ホームページでPRに努めているが、その効果が見込めるため、来期は好転すると考えている。
		不変	東京都	好転することを期待。景気次第というところがある業界なので、悪化する気はしない。
		悪化	熊本県	シーズンオフになり氷の需要が減少する。

#### ◆理容業

業種	業況		地域	判断理由
理容業	今期	好転	香川県	消費税引き上げの影響か、4・5月はあまり良くなかったが、その反動もかなり好転した。前期と比べて商品の売上が増えていることもあり、景気が少し良くなっているように思われる。

		不変	長野県	地域経済は精密工業が好転しており活気が始めているが、理容業界は相変わらず低調。借入を行い8月に店舗の改修等を行った。7月は暑かったためか売上が前年比3.7%の上昇、8月は改修工事に当たり臨時休業をしたことでやや低調だったが、後半は好転した。新しい技術を研究、メニュー化に向け研修中なので、来期に期待したい。
		悪化	愛媛県	4月に消費増税分を料金に転嫁したことで、高齢者・子供客が減り、前期・前年同期に比べて売上は減少した。料金引上げに伴いローションパックのサービス等を行ったが効果は不明。新人スタッフの採用を決めており、心機一転、自己の意識改革をしながら元気を出していこうと思っている。
	来期見通し	好転	長野県	前期の設備投資で照明器具をLED化したことにより経費が削減し、採算が好転すると考えている。また、新メニューの導入で単価と集客アップを見込む。地域内商店会でのホームページを作成し、各店のネット紹介に取り組む企画が進行中なので、大いに活用する予定。
		不変	石川県	消費増税の影響が大きい。年金受給者、高齢者の負担を少しでも減らすため高齢者向け送迎サービスを始めるなど、あの手この手でお客確保に努めている。
		悪化	山形県	新規客の確保に見通しがなく、むしろ固定客の高齢化により先々が不安である。

#### ◆美容業

業種	業況		地域	判断理由
美容業	今期	好転	奈良県	ブログをきっかけに来店される方が増えている。髪に関する以外で、スタッフの趣味や休日の過ごし方などを載せると好評。お喋りを楽しみに来店される方が多い。
		不変	秋田県	消費税引き上げに少しは慣れたようで、いつもどおりの周期で来店してくれていると思う。
		悪化	広島県	顧客の高齢化が進み、来店する顧客は減りつつある一方で、老人施設への無料出張サービスは増加の一途にある。
	来期見通し	好転	鳥取県	お客様の悩み解消メニューとして、ヘッドスパをもっと定着させていくなど、プラスアルファのメニュー化に向けて取組中。少しずつでもリピートしていただけるように時間をかけて、悩みを聞きながら対応していくことを常に心がけている。
		不変	山形県	高齢者のニーズに応えるようなメニューを多く取り入れ、交通手段のない方には送迎もしている。
		悪化	鹿児島県	新しいファッション情報や美容技術等の情報を提供しているが、以前と比べてお客様の反応が感じられない。お客様の心を掴みきれないでいる。

#### ◆映画館・劇場

業種	業況		地域	判断理由
映画館	今期	好転	大阪府	夏休み期間であり、上映作品（ポケモン、思い出のマーニー、ゴジラ等）内容も相まって、観客動員が伸びた。
		不変	鹿児島県	開業1～2年は認知度向上やコンテンツの充実に力を入れ、客数、売上ともに伸ばしてきた。3年目になるとより一層コンテンツの強化が課題となる。業界の状況を見れば容易なものではないが、頑張っていきたい。
		悪化	富山県	上映作品によって売上や動員に影響がある。前期は「アナと雪の女王」の上映により記録的な上昇となったが今期はそのような作品はない。
	来期見通し	好転	佐賀県	映像作成部門のPR映像の受注が入ってくるので、来期は好転する。
		不変	大阪府	継続的な黒字に向けて、経費節減等も考えてデジタルシネマ（DCP）化を進める中、その効果もあって、経営に安定感が出てきている。
		悪化	岐阜県	当劇場はロードショー作品よりも、シネコンとの差別化のため「単館アート系」と呼ばれる上映本数の少ない名作やヨーロッパの映画を多く上映している。秋シーズンも中年（シニア）女性客をターゲットにした良作を編成しているが、興行成績はあまり期待できそうもない。



◆ホテル・旅館業

業種	業況		地域	判断理由
ホテル・旅館業	今期	好転	大阪府	円安が続く状況は業界にもプラスの影響を与え、訪日外国人の増加により宿泊客数が増えている。
		不変	鳥取県	小規模旅館ながらネット配信による営業が知名度を増し、安定した誘客につながっている。
		悪化	宮崎県	消費増税分を宿泊価格に転嫁できなかった。また、台風の接近により、お盆前後の繁忙期にスポーツ団体等の予約がキャンセルになり、売上が減少した。
	来期見通し	好転	岩手県	住宅建築にマンション建設が加わり、工事関係のお客様が期待できる。
		不変	高知県	消費増税による影響は一段落。レストラン、宿泊、宴会は増収予想だが婚礼の獲得が不透明である。
		悪化	秋田県	増税が重荷になり、景気回復が遅くなるので、ますます経営は厳しくなる。

◆公衆浴場業

業種	業況		地域	判断理由
公衆浴場業	今期	好転	千葉県	組合事業で実施している 65 歳以上の 100 円入浴が好調であった。天気が割と安定していたことも良かったのかもしれない。
		不変	京都府	燃料の高騰で苦労している。代燃で少し補っている。
		悪化	兵庫県	主な客層である高齢者が減少しつつあり、顧客数減少に歯止めがかからない。
	来期見通し	好転	兵庫県	値上げ後の新入浴回数券の購入者が増えてきているので業況の好転が期待できる。
		不変	栃木県	値上げによる利用客の減少も一時的であるものと期待している。
		悪化	大阪府	消費増税後の入浴者数の落ち込みに加え、燃料（重油）の高値安定が続いており、さらなる客離れが懸念される。

◆クリーニング業

業種	業況		地域	判断理由
クリーニング業	今期	好転	広島県	折込チラシ（割引）をやめ、スタッフによる手作りのダイレクトメール、ポスティングを月 3 回程度実施したことが効果的であった。さらに、付加価値の高い商品をのぼり、ポスターで周知するとともに顧客ごとに名刺サイズのお知らせメモを渡したことが、顧客単価の上昇、売上増加につながった。
		不変	栃木県	当期は単価の高い依頼品は少なかったが、近隣の会社からの依頼もあり概ね不変であった。
		悪化	秋田県	消費税アップにより消費者の態度がシビアになっている。また、値上げにより業況はますます厳しい状態が続いている。
	来期見通し	好転	福岡県	梅雨に逆戻りしたような気候が続いているが、今年は秋が早く訪れ、例年よりも衣替えが早まると予想している。また、この長雨からカビ取りの洗濯依頼が増えると期待している。
		不変	宮崎県	サービスデーを継続しつつ、集配に力を入れ好転につなげたい。
		悪化	栃木県	燃料費の上昇は、厳しい経営に拍車をかけ、業況はさらに悪化している。